

# 滋賀県人権啓発キャラクター「ジンケンダー」 着ぐるみ使用マニュアル



滋賀県人権施策推進課  
令和4年（2022年）6月版

## はじめに

ジンケンダーは滋賀県の人権啓発キャラクターとして、平成 23 年（2011 年）に生まれました。ジンケンダーは自分のことを「ぼく」を呼びますが、性別はわかりません。

ジンケンダーはみなさんの人権を守るために、日々活動しています。

ジンケンダーは、困っている人がいたら助けようとし、目の前に問題が起こっていると何とか解決しようとしめます。でも、なかなかうまくいかずに、ずっとけたりします。しかし、いつも周りの人がそれを見て助けてくれて、最後は問題が解決に向かいます。ジンケンダーはいつも、人権の大切さをみなさんに知ってほしいと思っています。

## 備品（パーツ）一覧

1	頭部 頭部調節用スポンジ (予備 1 個あり)	
2	胴体	 
3	ブーツ（左、右）	

4	手袋（左、右）	
5	マント	

## 着ぐるみ着用上の注意点

- ① 着ぐるみを着脱する際は、必ず他の人が補助してください。1人で着脱すると、着ぐるみの各所に負担がかかるため、破損しやすくなります。
- ② 着ぐるみの中に入る方の身長は 160cm 前後を想定しています。それ以上あるいはそれ以下の身長の方が中に入ると、キャラクターのバランスを損なう可能性がありますので、なるべく想定範囲内の方の着用をお願いします。
- ③ 着ぐるみを着脱する際には、着ぐるみの各パーツを広げることのできる十分なスペースのある控え室等を確保してください。控え室は関係者以外立入禁止区域に設けるか、入口前にパーテーションを置くなど、外部から着脱が見えないようにしてください。人目につく場所での着ぐるみの着脱は、キャラクターのイメージを損ないますので、絶対に行わないでください。
- ④ 雨天や雪の日の屋外など、汚損・破損が考えられる状況下では使用しないでください。

## 着ぐるみ着用方法（手順）

### ① 着ぐるみ着用に備え軽装に

内部は温度がかなり上がりますので、夏季はTシャツと短パン等、軽装が望ましいです。そして頭部にはバンダナ等を着用して、整髪料や汗等が直接内側につかないようにお願いします。手には手袋（軍手）、足には靴下等を着用してください。化粧をされている場合は、事前に洗顔等で落として着ぐるみ着用に備えてください。

なお、着脱はビニールシート等の上で行い、着ぐるみが汚れないように注意してください。

### ② ブーツを履きます



ブーツを履く前に靴下を着用願います。ブーツは左右とも同じ形をしています。

身長が170cm以上の方は赤いズボンを必ず着用ください。

### ③ 胴体を着用します



背面にあるファスナーを開けて上からかぶるように着用します。

脱衣の際は、上、下どちら側からでも脱ぐことができますが、胴体が汗で身体と密着している場合があります。

強引に脱がないように御注意ください。

着用後、白い部分のボタンが外れてないか確認してください。

#### ④ 手袋を着用します



手袋はかなり汗を吸う素材で作られていますので、はじめに軍手を着用してから、手袋を着用してください。

手袋を胴体にホックで留めてください。

#### ⑤ マントをつけます



マントを胴体にホックで留めてください。

#### ⑥ 頭部をかぶります



中に入る人が小柄な場合で、頭がぐらつく時は、首の後ろに調節用のスポンジを挟んで固定してください。

スポンジは頭の内側に付いているマジックテープで固定します。取り外しは丁寧にしてください。

## ⑦着用は完了です



胴体とブーツの間に隙間ができていないかなど、補助者が外側から確認してください。

## 装演時の注意点（中に入る人向け）

- ① 着用後はキャラクターのイメージを損なわないよう、明るく楽しく演技をしてください。
- ② 着ぐるみ着用後、人とふれあう場所に出る場合は、必ず同伴できるスタッフ（以下「サポートスタッフ」という。）の確保をお願いします。キャラクター自体は視野が狭く、中に入っている方だけでは周辺状況の把握は困難です。サポートスタッフが不在ですと、状況次第ではキャラクターを囲む子ども等にキャラクターが倒れかかる等、不測の事態も考えられますので御注意願います。
- ③ 着ぐるみの着用時間は、基本的には15分～20分を目安にお願いします。気温や中に入る方の体力、その日の健康状態を踏まえ、着用時間は各自で判断していただくこととなりますが、控え室から目的地へ行く移動時間、目的地でキャラクターとして振る舞う時間、目的地から控え室に戻る移動時間も考えて、キャラクターとしてのイメージを損なわないよう、体力を考慮したペース配分をお願いします。
- ④ 着用中、急に体調不良になる可能性もあります。サポートスタッフと不調の際の「合図」を事前に決めておくことをお勧めします。

- ⑤ キャラクターはしゃべりません。キャラクターのイメージを守るため、子ども等周囲から話し掛けられても、中に入っている方が返事をしたり、逆にキャラクターから話し掛けるようなことは絶対にしないようお願いします。返事やその場の対応はサポートスタッフが行っていただくようお願いします。
- ⑥ ジンケンダーは、いわゆる「戦隊モノ」ではありません。パンチやキックなど暴力的な動作や表現は行わないでください。
- ⑦ 着ぐるみを着用したまま、喫煙、飲食をしないでください。
- ⑧ 着ぐるみは引火しやすいので、火気のそばには絶対に近づかないでください。
- ⑨ 着ぐるみのブーツは大変滑りやすいので、雨天、雪の日は屋外での着用をしないでください。
- ⑩ 恥ずかしがったりせずに、ジンケンダーになりきって演じてください。また、子どもとのふれあいを大切にしてください。

## 装演時の注意点（サポートスタッフ向け）

- ① 階段や段差など、必要な時には手を引いて、着ぐるみの歩行を補助してください。装演者は周囲の状況がわかりませんので、声かけにより周囲の状況を知らせてください。
- ② 出演時間をあらかじめ決めておき、時間を管理し、切り上げるタイミングを考え、装演者に無理がないようにしてください。
- ③ 声かけは、「ジンケンダー、前に階段があるから気をつけてね」や「ジンケンダー、困っている人がいないか、次へ行ってみよう！」（終了時）など、“装演者”にではなく、“ジンケンダー”への声かけとして行ってください。また、控え室の外で、装演者と雑談をしないでください。
- ④ 子ども等から着ぐるみを叩く、蹴るなどの行為をされた場合は、サポートスタッフが対応するようにしてください。

- ⑤ 子ども等からジンケンダーの性別について質問があった場合は、ジンケンダーは性別を特に明示していない旨をお答えください。また、誰が入っているかをたずねられた時は、「ジンケンダーです」と一言だけ答えてください。
- ⑥ 子ども等から抱きかかえてほしいという要望があった場合は、手が滑るなど動作的な理由は言わず、「ジンケンダーは、抱っこはできないのです」と説得してください。

## 着ぐるみ着用後の注意点

- ① 着ぐるみ着用後、頭部・胴体内部はかなりの熱や湿気を有することが考えられますので、脱衣後すぐに収納するのではなく、30分以上は放熱時間を確保してください。陰干しする場合は、いたずらや盗難を防止するため、人目につかないところで行ってください。
  - ② 着ぐるみ脱衣後、頭部内を湿ったタオル等で軽く拭いてください。
  - ③ 頭部、胴体、ブーツ、手袋に除菌・消臭剤をスプレーしてください。大量にスプレーすると乾かなくなることがありますので、御注意ください。
  - ④ マントは、文字の部分に折り目がこないようにたたんでください。
  - ⑤ 頭部と胴体は布袋に入れてください。頭部はスポンジで包み込むようにして袋に入れてください。
  - ⑥ 着ぐるみに汚れや破損等が確認された場合は、すぐに貸出者へ連絡願います。クリーニングや洗濯が必要となる場合があります。
  - ⑦ 着ぐるみを搬入・搬出する際には、破損するおそれがありますので、経路にある壁や扉等に着ぐるみが当たらないよう御注意願います。
- ★ 汚したり破損した場合には、クリーニング代や修繕費を負担していただくことがありますので、装演や着ぐるみの取扱いには十分御注意願います。

連絡先：滋賀県人権施策推進課

電話：077-528-3533